

事務事業名	収入消込事務				担当	会計管理者 会計課 出納係			
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり				増補版施策名			
施策名	4	健全な財政運営				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市財務規則第34条								
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	4. 会計管理費					
事業概要	市税以外の歳入について、電算入力により消し込み事務を行う。 消し込み…主管課が、領収済み通知書等の収入原簿に基づき、徴収簿に収入年月日を記録すること。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 会計別、款項目別、日付別に分類整理された納付書を基に電算入力する。電算上の集計と指定金融機関の日計表を照合する。 31年度計画 30年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア 消し込み件数（会計課）	件	12,667	12,329	13,361	13,299	13,300
	イ						
	ウ						
	エ						
オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 納付書の枚数及び納入額	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア 納付書の枚数	枚	249,449	252,815	249,589	249,345	250,000
	イ 納入額	百万円	59,989	60,848	58,083	54,589	55,000
	ウ						
	エ						
オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 収入金額の把握	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア 正確に消し込みされた収入額	百万円	59,989	60,848	58,083	54,589	55,000
	イ						
	ウ						
	エ						
オ							
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 財政の健全化	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア 正確・迅速に処理された消しこみの割合	%	100	100	100	100	100
	イ						
	ウ						
	エ						
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	260	260	300	300
		人件費計(B)	千円	1,089	1,080	1,245	1,251
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,089	1,080	1,245	1,251	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	正確な入金把握
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成6年4月から財務会計システムが導入され、平成21年12月からは公会計システムに変更された。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	